

活力ある社会を創る適応自在AIロボット群 - シンポジウム -

日本発の破壊的イノベーションの創出を目指し挑戦的な研究開発を推進する国の研究プログラム「ムーンショット型研究開発事業」の中で、ムーンショット目標3では「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」することを目標に、様々なプロジェクトが採択されています。そのうちのひとつである研究開発プロジェクト「活力ある社会を創る適応自在AIロボット群」では、個々のユーザや環境に合わせて形状や機能が変化し、適切なサービスを提供する適応自在AIロボット群の開発を目指しています。

本シンポジウムでは、プロジェクトが目指す2050年の社会像を示し、そこからバックキャストイングして導かれた研究開発項目を紹介するとともに、特に活用が期待される介護分野におけるテクノロジーの展望と現在開発しているロボット、AI技術等のデモンストレーションを行います。

開催日時

2023年 11月14日 (火) 13:00~17:00 受付開始 12:30~

参加費・定員

無料, 会場参加 80名 (申込先着順)

対象者

介護ロボット等の開発に取り組んでいる方, 関心のある方
介護ロボット等に関心のある医療・介護・福祉関係者

開催場所

国立長寿医療研究センター 教育研修棟1階大会議室

<https://www.ncgg.go.jp/hospital/kenshu/kenshuto/>

プログラム:

13:00-13:05	開会挨拶 (国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター長 近藤和泉)
13:05-13:20	プロジェクト全体説明 (東北大学 大学院工学研究科 教授 平田泰久)
13:20-13:40	AIロボット群協調運用シミュレーションと社会実装 (東京都立大学 システムデザイン研究科 教授 久保田直行) (国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター 室長 加藤健治)
13:40-14:00	適応自在AIロボット群: Robotic Nimbus (名古屋大学 大学院工学研究科 教授 長谷川泰久) (信州大学 工学部 教授 山崎公俊)
14:00-14:20	VR・ロボット統合型リハビリテーション・生活訓練システム (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 主幹研究員 野田智之) (奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 池田和司)
14:20-14:30	国際連携紹介 (Diego Felipe Paez Granados, Head of the Spinal Cord Injury Artificial Intelligence Lab at ETH Zürich)
14:30-14:40	デモンストレーション概要説明 (国立長寿医療研究センター 加藤健治)
14:40-14:50	休憩
14:50-16:30	デモンストレーション公開 ※各デモ場所自由見学
16:30-17:00	社会実装に向けた討論会 (先着順・希望者のみ) ファシリテーター 平田泰久 加藤健治



国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

健康長寿支援ロボットセンター
ロボット臨床評価研究室

電話: 0562-46-2311 (内線6112)

E-Mail: clinrob@ncgg.go.jp

申し込みはこちら

